

東奥日報
2019年(令和元年)6月22日土曜日(14)

自動車技術独創アイデアコンテスト

八工大 濱浦さん、佐藤さん最優秀

網膜認証で事故防止

八戸

八戸工業大学の工学部機械工学科自動車工学コース4年の濱浦匠さん

(21)と佐藤匡哉さん(21)が考案した「網膜認証式安全確認システム」が、「第29回自動車技術独創アイデアコンテスト」(自動車技術会東北支部主催)の最優秀賞に輝いた。多発する高齢者による交通事故を防ぐため、網膜認証で不適合となった場合に車を制御するというアイデア。2人は「実現すれば事故の防止に役立つはず。実用化に近づけたい」と話している。(工藤俊介)

同コンテストの大学・高専・専門校部門には東北各県から計28チームがエントリー。2人のアイデアは、1次審査(書類)を通過し、今月上旬に仙台市で行われた本選考会(ポスター)で見事最優秀賞に選ばれた。



網膜認証システムによる交通事故防止のアイデアで最優秀賞に輝いた濱浦さん(左)と佐藤さん(右)

提案したのは、ドライバーの瞳孔の大きさと反射速度をセンサーで検出し、事故を起こす可能性が高いと判断された場合、車のエンジンを始動させないように制御するシステム。2人によると、高齢者は若者に比べて瞳孔が小さく反射速度も遅いことに加えて、アルツハイマー型認知症ではこの症状が顕著になる。2人は、高齢者の運転免許更新時には講習や適性検査が義務づけられている一方、認知症などは突然進行する場合もある」と指摘。網膜認証で車両にデータを蓄積させれば、健康状態に応じて最高速度を制御することも可能になるという。指導する同学科の浅川拓克准教授によると、2人のアイデアは既存の技術を応用することで実用化につながる可能性も高いという。「自分たちのアイデアが最優秀賞をもらえて光栄。卒業までにもう少し研究を進めたい」と佐藤さん。濱浦さんは「高齢者による痛ましい交通事故は社会問題となっている。網膜認証システムが事故防止につながれば」と期待を込めた。

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」